

館山塾報



〒101-0061

東京都千代田区三崎町二一八一九
東京 Tel (03) 3264-1838
Fax (03) 3264-1836 館山塾
http://www.tateyamajuku2.com/

contents

チーフ制について……	2面	『スピリットバアにふれた島』
塾則一部変更……	2面	を読んで……
合格の秘訣……	3面	受講料のお知らせ……
		8面

~~~~~  
第Ⅰ・Ⅱ期の行事から  
~~~~~

☆第Ⅰ期総合試験

(中学生) 【五月二十二日(日)】

五月二十二日(日)は、中学生全学年を対象に、第Ⅰ期総合試験が行われます。

対象 中学生全員

科目 国語・数学・英語の三教科
(中三の理・社選択者は五教科)

(高一・二) 【五月二十二日(日)】

五月二十二日(日)は、高校一・二年生の各クラスを対象に、第Ⅰ期総合試験が行われます。

対象 高校一・二年生

科目 国語・数学・英語の三教科・理系物理のうち、各自の受講科目(受講していない科目も、希望により受験できます)

☆次回総合試験……前期終了試験

【夏期講習最終日に実施】

~~~~~  
第Ⅱ期(6月〜8月)の予定  
~~~~~

中・高共通

五月二十二日(日)……………中学、高一・二第Ⅰ期総合試験

五月二十九日(日)……………中学第Ⅰ期総合試験特徴

七月十七日(日)……………平常講義終了

七月十七日(日)〜十九日(火)……………保護者面談

七月三十一日(木)〜二十四日(日)及び

二十六日(火)〜二十九日(金)……………夏期講習期間A

七月三十一日(日)〜八月三日(水)及び

五日(金)〜八日(月)……………夏期講習期間B

八月十六日(火)〜十九日(金)及び

二十一日(日)〜二十四日(水)……………夏期講習期間C

※第Ⅰ期総合試験特徴は、該当者のみ別途通知します。

※期間Cは、高3を除く全学年、補講実施期間となります。期間A・Bの欠席者の他、発展的な演習から基礎事項の復習まで、授業以外にも、たっぷり力をつけたい諸君のための期間です。期間Cには高三オプショナル講座、中三演習講座を実施します。

八月二十五日(木)……………前期終了試験(全学年)

~~~~~  
お知らせ  
~~~~~

☆総合試験について(中〜高二)

- ・総合試験は、塾生諸君の学習達成度を測るものとして、大変重要なものです。全員、必ず指定された日時に受験して下さい。
- ・万一、やむを得ぬ事情で欠席する場合は、事前に欠席届(事務でお渡しします)の提出が必要です。
- ・欠席届には、欠席理由を明記の上、保護者の方の署名と捺印が必要です。
- ・欠席届は試験前日までに事務へ提出願います。
- ・届け出時に、事務から振替受験の日時を指示します。
- ・当日、急遽欠席する場合には、当日中に電話連絡の上、事務の指示を受けて下さい。
- ・なお、この場合も、前記同様の欠席届を後日提出していただきます。

☆面談・夏期講習について

七月十七日(日)〜十九日(火)実施予定の面談は中学生の保護者の方が対象となります。高校生の面談は七月中に随時実施する予定です。

夏期講習時間割等の詳細は、次回の塾報(六月下旬発行予定)でお知らせ致します。やむを得ぬ事情で夏期講習を受講できない場合は、七月五日までにご連絡下さい。

~~~~~

チーフ制度について

~~~~~

△▼チーフ制度とは？△▼

館山塾では、塾生一人に対して、常勤講師一名が担任講師（チーフ）となります。塾での受講科目に限らず、学校の成績も含めて成績を総合的に把握し、一人一人の塾生が、的確に学習を進められるようアドバイスしていきます。

高校生に関しては、既に年度初めに担当チーフによる面談を行いました。全年年とも、夏休み前、及び秋から冬にかけての時期に個別に面談を行う予定です。特に三年生には、受験を前に綿密な受験指導を行います。苦手科目を敬遠してつい勉強のバランスが崩れている場合など、早めの的確なアドバイスをを行う、授業以外にも塾生の学力向上に効果を上げていきます。なお高校生にも、保護者同席の三者面談のご要望にお応えしています。

塾生諸君の方でも、相談事があれば、いつでも各チーフまで申し出て下さい。受験相談から学習上のあらゆる事に至るまで、何でも受け付けます。模試の結果など携えて、どんな相談に来て下さい。また、チーフ以外の担当科目の講師に相談がある場合も、遠慮なく申し出て下さい。

◆◆◆◆ 塾則一部変更のお知らせ ◆◆◆◆

先に教室での配布文書でお知らせ致しました通り、塾則第一条に但し書きが加わりましたので、お知らせ申し上げます。同封の塾則第一条の条文をご参照下さい。

自転車通塾は、安全面及び駐輪場の確保が難しいという理由から塾則第一条で禁止していましたが、安全面に十分注意し、交通法規を遵守し、個人で駐輪場が確保できる場合は例外として、自転車通塾を認めることとします。

また、館山塾では、通塾時の事故に備えて、塾生保険に加入していますが、塾則に違反している場合は、事故に遭遇しても保険が下りない場合があります。

そこで、駐輪場を確保した上で、自転車通塾をご希望になる場合は、許可証を発行致しますので、事務までお申し出下さい。

違法な駐輪は近隣の迷惑になるだけでなく、消防車等緊急車両の通交の邪魔になる場合もありますので、絶対におやめ下さい。

ご参考までに、近隣の駐輪場をご紹介します。

- 1、後楽駐輪場 東京メトロ後楽園駅地下 2時間無料、以降10時間毎に100円 文京区
- 2、春日駐輪場 都営線春日駅地下 2時間無料、以降10時間毎に100円 文京区
- 3、ミーツポート自転車駐輪場 1時間無料、以降5時間毎に100円 東京ドームシティ
- 4、ラクーア自転車駐輪場 3時間無料、以降3時間毎に100円 東京ドームシティ

下記5、6は既に年度初めに登録が終了して現在空きはない状態です。

- 5、水道橋自転車駐輪場 JR水道橋駅東口ガード下 年間3000円(区民) 千代田区
- 6、水道橋駐輪場 JR水道橋駅東口 年間2000円(区民)、3000円(区民以外) 文京区

ここにご紹介する「秘訣」は、今春、合格を果した諸君から寄せられたものです。受験生活を振り返り、どのような点に注意したらよいか、それぞれの時期別に書いてもらいました。各自の学習の参考にして下さい。

△▼▲▽△▼▲▽△▼▲▽△▼▲▽

大学合格者による「合格の秘訣」

△▼▲▽△▼▲▽△▼▲▽△▼▲▽

杉田志具麻君（都立小石川高）

東京大学文Ⅲ類合格

早稲田大学政経学部合格

早稲田大学社会科学部合格

明治大学法学部合格

☆高3の1学期

とにかく生活のリズムを整えることを意識して勉強を習慣にしました。

☆高3の夏休み

塾の夏期講習の予習・復習に全ての時間を使いました。三大予備校の模試は全て受けました。

☆高3の2学期

ニガテな日本史・数学とセンター試験でしか使わない生物・政経を重点的に勉強しました。三大予備校の模試は全て受けました。

☆高3の冬休み

センター試験の過去問を徹底的にやりました。

☆高3の直前期

過去問をひたすらこなし、社会を中心に勉強しました。

☆受験生へ一言

ただ授業を受けたり出された宿題を何も考えずにこなすのではなく、自分の頭できちんと考え、疑問に思ったことはとことん追求する等、能動的な勉強を志すことが必要だと思います。あと、復習は少なくとも3回徹底的に行うべきだと思います。

西山泰生君（東洋高）

東京工業大学4類合格

東京理科大学工学部合格

東京理科大学理工学部合格

早稲田大学創造理工学部合格

☆高1の時

ほとんど毎日塾に通って、授業の前に数学を先生にみてもらって先取りをした。

☆高2の時

数学の演習量。理科も独学で頑張った（が伸びなかった）。

☆高3の1学期

家での勉強量を増やした。

☆高3の夏休み

英語は割とちゃんとやったと思う。

☆高3の2学期

東大・東工大の数学の過去問。

☆高3の冬休み

センター英語をやった。

☆高3の直前期

東工大の物・化。

☆受験生へ一言

高校受験で第三志望まですべて落ちた僕でも努力すれば難関大に合格できました。受験勉強をいかに早く始めるかが合否を左右すると思います。

英語・理科は不発だったけど数学でなんとかカバーできました。理科はやっぱ演習量が足りませんでした。センターが取れなかったのは完全に勉強不足からです。リサーチはほぼE判でした。

大塚寛子さん（共立女子高）

東北大学工学部合格

慶應義塾大学環境情報学部合格

東京理科大学理工学部合格

東京理科大学経営学部合格

☆高1の時

*塾を休まなかった。
*友達と楽しんだ。

☆高2の時

*宿題をしつかりこなすよう努力した。
*学校の試験や何かがあっても塾を休まなかった。

☆高3の一学期

宿題で出された問題に一問一問時間をかけ、丁寧に解いた。毎日塾の自習室に通うようにしていた。

☆高3の夏休み

塾の勉強の予習、復習、宿題の全てを完璧にこなせることなく夏休みは終わってしまったのだが、できるころまではやった。

☆高3の二学期

だいぶなまけ、勉強の仕方に迷いも生じたが今まで通りに勉強を進めた。

☆高3の冬休み

センターの文系教科の勉強をはじめ、理系教科は授業のみで、二次の勉強をしていた。

☆高3の直前期

よく寝て、よく食べて、よく家族と話をしていた。

☆受験生へ一言

試験を受ける際は自信をもって行っていくと思う。何があっても第一志望は変えるべきではないと思う。受験生を楽しみむべき。悩むことなく突き進んでいいと思うし、悩んだら、すぐに誰かに相談してあまりブルーにな

るべきではないと思う。とにかく、自信をもって取り組むことが大事だと思う。

宮澤初穂さん(桜丘高)

北海道大学総合理系学部合格

☆高3の一学期

数ⅠⅡABのクラスが上がってがんばるようになった。

☆高3の二学期

英語とⅢCのクラスが同時に上がった。周りについて行こうと必死になった!! 大変だったけど結果的に良かった。

☆高3の冬休み

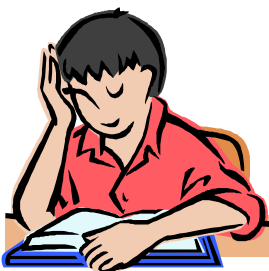
センター系の問題を大量にやった。

☆高3の直前期

過去問とその見直しを中心に理科の論述を大量にやった。

☆受験生へ一言

苦手教科でもちゃんとやるとけばどうにかなる時もあります。



△▼▲▽△▼▲▽△▼▲▽△▼▲▽

卒業生からのアドバイス(高校受験編)

△▼▲▽△▼▲▽△▼▲▽△▼▲▽

佐藤淳史君(文京第三中)

筑波大学附属高校合格
城北高校合格

☆中1の時

*学校の授業を全て理解するようにした。
*定期考査は毎回全科目勉強し、基礎を固めた。

☆中2の時

中一と同様、学校の授業をしつかり受け、苦手科目を作らないようにした。

☆中3の一学期

部活をしながら、志望校は特に意識せず、塾の予習や復習を毎回きちんとやり、宿題も欠かさずにやった。

☆中3の夏休み

夏期講習が始まる前までに予習をしていたので、講習中は余裕を持って宿題に取り組むことができた。また、志望校を決め、過去問にも少しずつ手をつけた。

☆中3の二学期

部活もなくなり、勉強に専念できるようになった。塾での勉強と過去問を並行してやった。

☆中3の冬休み

冬期講習では、受験に向け、知識のまとめや入試演習をした。家では過去問のやり直しなどをしていった。

☆中3の直前期

あまり負担がかからないように、無理をしない程度の勉強だけをした。また、体調を崩さないように気を付けた。

☆受験生へ一言

なるべく早い時期に、複数の学校の見学や説明会に行き、それぞれを比べながら、志望校を決定することが大切だと思います。志望校という目標があれば、それに向かって頑張れると思います。

胡子幸奈さん（中野区立中央中）

筑波大学附属高校合格

豊島岡女子学園高校合格

淑徳高校合格

☆中1の時

テキストをしっかりとやって基礎を身につける。

☆中2の時

中一でやったことに積み重なるように、一つ一つをしっかりとやり、理・社は復習で忘れているところを思い出す。

☆中3の夏休み

学校見学に行き始める。

☆中3の二学期

*学校見学にたくさん行って志望校をだいたい固める。

*復習を終わらせて過去問をやり始める。

☆中3の冬休み

過去問をすすめる。苦手部分を重点的に勉強する。

☆中3の直前期

過去問を終わらせて、苦手教科は昔の過去問を印刷してもらって練習をくり返す。理・社は知識の確認をする。

☆受験生へ一言

*あきらめずに自分を高めるためできる限りの努力をすれば、結果はついてくると思います。がんばってください。

*私は1年生の頃から吹奏楽部に入っていて、毎日の朝練・午後練には3年の二ヶ月まで参加していました。塾の平常講義には3年の9月から参加したので、9月からの生活は結構ハードでしたが、時間を上手く使うことを心がけ、睡眠時間も確保できるようにしました。

*私は特に数学が苦手だったので秋頃から平常講義とは別の日に過去問演習をやりました。1・2年の頃に塾に通っていた人達に比べ、取り組んできた時間の量が少なかつたので、その分を取り戻そうと思い、他の人よりも多くの過去問をやりました。1月

の冬休みのときに点数がずっと上がってその時はとてもうれしかったです。

*塾に通った時間が短い人でも、その分を努力すればきつと追いつけると思うし、部活等の好きなことも時間を上手く使えば続けられると思います。本当に本人の努力次第なのでみなさんががんばってください。

市川暁広君（麹町中）

早稲田大学高等学院合格

都立青山高校合格

☆中3の二学期まで

僕は最初理社をとっていなかったのですが、学校の定期テストで90を超えるよう自分で勉強した。このとき結果だけを求めて復習をしなかったから、入試前に過去問をやっても、勉強したのに忘れていて、残念なことになった。

☆中3の直前期

*過去問で傾向を理解し、がんばる。

*一月からはやる気と集中力ががんばった。

☆受験生へ一言

自分が本当に行きたい高校に行きましょう。

粟生田杏奈さん（牛込第三中）

都立青山高校合格

東洋高校合格

☆中1・中2・中3の一学期まで

- * 先生の話をしつかり聞いてノートをとる。
- * 英語は単語帳をつくって、単語とその発音記号を覚えるようにした。
- * 授業に必ず出るようにした。
- * 国語の予習用紙の裏の作文を書くのを頑張った。
- * 数学は最初BクラスでだんだんAクラスに上がっていった。

☆中3の夏休み

- * 夏期講習の授業を毎日真剣に受けた。
- * 宿題をちゃんとやるようにした。

☆中3の二学期

- * 授業の日以外に塾に行くようになった。
- * Vもぎの見直しをした。

☆中3の冬休み

過去問をたくさん解く。

☆中3の直前期

- * 理・社の総復習と過去問の解き直し。
- * 授業以外にも毎日塾に来て勉強した。

☆受験生へ一言

* 勉強はあせらず、あわてず、あきらめず。最後の一秒までフェアプレーでベストを尽くす！

* 私はとにかく勉強ができるようになるとうと、先生の話をしつかり聞き、ノートをとりました。テストを何回も受けてやっとA

クラスになれたときはとても嬉しかったです。上のクラスに行くのだから今以上に頑張らないと、復習テストで毎回高得点をとれるよう努力しました。最後の最後まで難しい問題が解けるようにならず、あきらめそうになったこともありましたが絶対受かりたいという気持ちを捨てずに、むしろそんな問題を楽しもうとしました。

村田侑香さん（佃中）

都立国立高校合格

☆中3の二学期

宿題をていねいにやったことや、テストの直しをしたこと。

☆中3の冬休み

数学と英語の冬期講習の教材は全部解けるようになるまで練習したりしたこと。

☆中3の直前期

過去問をどんどんやって解くスピードを上げること、間違えた問題をちゃんとやり直すこと、よく分からない問題は先生に聞いて理解したこと。

☆受験生へ一言

私は3年の夏まで部活に熱中してて、受験勉強を始めたのはそれからだったので遅かったと思うけど、6か月間集中して頑張ったから、行きたい高校に合格できました。部活とかやってる人は、勉強との両立を意識するこ

と、引退したらしつかりと切りかえることが大事だと思います。合格したときの達成感を味わえるように、それまで全力で頑張ってください。

嶋田有希さん（志村第四中）

都立三田高校合格

大東文化大第一高校合格

☆中1の時

普通に勉強した。

☆中2の時

学校の定期テストを頑張った。

☆中3の一学期

受験のことをなんとなく意識し始めた。

☆中3の夏休み

高校見学をした。

☆中3の二学期

学校の授業態度をきちんとした。

☆中3の冬休み

とにかく過去問をといた。

☆中3の直前期

新しいことを覚えるよりも、今まで勉強したことを復習した。

☆受験生へ一言

私はこの15年間生きてきた中でこんなに勉強したのは初めてでした。でも、自分が頑張った分だけ、自分の思うような結果がでました。本間孝里さん（中野区立、身長170cm、

▲▽ ベン・マイケルセン著『スピリットベアにふれた島』を読んで ▼▲

胡子俊英

文学作品を要約するなどという作者に失礼なことはしたくないのですが、物語は、傷害事件を起こした十五歳の少年が、裁判ではなくサークル・ジャスティスという地域の懇談会のような場の決定で、アメリカ先住民の世話役の保護観察の下、アラスカの無人島へ島流しにされ、厳しい自然の中で生まれ変わっていくというお話です。

一番驚いたのは、アメリカの司法制度の中に先住民の智恵が活かされた手法が採り入れられていることです。少年犯罪の多さが日本の比ではないであろうアメリカでは、懲罰ではなく、教育的な刑罰を実践していこうとするのはなるほどと思いますが、アメリカ先住民の魂の救済法を採用している州があるというのは驚きです。

物語の中で、主人公は、熊に襲われ瀕死の重傷を負い、食べる物もなく、生死の境界をさまようことで、それまでの都会生活では見えていなかったものが見えてくるようになります。「自然との一体感」が人を動かすという話はよくあるものですが、単なる観念的な理解を超えて、大自然には人を変える力があることを知るのには、我々都会人には必要なことに思われます。

宗教学者の中沢新一が、原子力発電は、自然界から無限のエネルギーを搾取していながら、自然に何のお返しもしていないことに危惧を感じるといふようなことを何かで書いていました。

もともと人類は、自然からの恵みで生かされ、自然に感謝と祈りを捧げることで、自然と調和して生きてきました。おみこしを担ぐ祭りにしても、その年の収穫に対する神への感謝と祈りを捧げることに始まったものが、田んぼもない都会でいまだに残っていることに、その力の大きさを感じます。

今時、龍神への捧げ物として、村の娘を人身御供にすることはあり得ませんが、今回の震災に際し、自然からエネルギーを搾取しておいて、何の感謝も祈りもない現代社会が、自然から巨大なしっぺ返しを食ったと考えるのは、あまりに時代錯誤な考え方なのでしょうか。

この物語にあるように、現代社会が忘れ去った先住民の智恵を活かして、現代が抱える少年非行の問題に対処しようとする姿勢に触れて、ふと連想が広がっていきました。

世界中に浸透した資本主義の論理を無視して、震災後の復興もあり得ませんが、伝統的な智恵を結集することは、この物語のように実効性があるのではないかと思います。特に、自然と調和して何千年も平和に暮らした縄文の智恵や、戦乱の世の中で養われた無常観、そして鎖国して二百年以上も自給自足で豊かな文化を築いた伝統を持つ我が国が、古くからの考え方の中から現代に活かせるものを再生させることで、現代社会が抱える解決困難な問題にも対処する力が湧いてくるのではないかと、思ったのです。

『スピリットベアにふれた島』は、全国図書館協議会の読書感想文全国コンクールの中学校の部の課題図書にも選ばれています。また、訳者は館山塾の高校の部、英語科の原田先生です。ちょっと宣伝も兼ねて紹介させて戴きました。

